

江東区長期計画(後期) 重要課題・重点プロジェクト(案)いただいたご意見等に対する区の考え方

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
1	重要課題1 地下鉄8号線延伸を契機とした 魅力あるまちづくり	公共交通機関 に関する意見	将来の枝川駅開業に伴い、スポーツ推進を視野に、アクアティクスセンターとの無料バスを連携するのはどうか。 現行のアクアティクスセンター無料送迎バスが枝川駅を経由すればよい。	東京アクアティクスセンターが実施しているシャトルバスについては、東京アクアティクスセンターの指定管理者が実施しているため、いただいたご意見につきましては、都にお伝えさせていただきます。
2	重要課題1 地下鉄8号線延伸を契機とした 魅力あるまちづくり	公共交通機関 に関する意見	都営交通乗車証や東京都シルバーパスで、地下鉄8号線にも乗車できるようにしてほしい(他1件)	いただいたご意見は、関係機関にお伝えさせていただきます。
3	重要課題1 地下鉄8号線延伸を契機とした 魅力あるまちづくり	道路・公園・散歩道等 に関する意見	枝川駅開業に伴い、豊洲~枝川1丁目間に新たな橋や地下道を造設してほしい。現状では、通勤・通学時には朝凧橋が混雑し、自転車やベビーカーのすれ違いが困難であり、子供たちの安全な通学ルートにもなると思う。また、枝川1丁目の都有地を活用してほしい。	新たな橋の架設や地下道の建設については、多額の建設費を要することなどから、慎重に検討していく必要があると考えております。今後も、誰もが安全で快適に移動できる道路環境づくりに努めてまいります。また、枝川一丁目の都有地については、現段階で、都より具体的な利用は決まっていないと聞いており、今後の動向を注視していきます。
4	重要課題1 地下鉄8号線延伸を契機とした 魅力あるまちづくり	地下鉄8号線 に関する意見	地下鉄を新たに敷設する場合、既存施設よりも深い位置での設置となり、取り分け高齢者にとって移動の負担が大きいので、特に欧州各国の対応状況を手本にしてほしい。	既成市街地での新たな鉄道の建設において、現状のまちを活かすためには地下空間の利用が効果的です。地上部との接続については、バリアフリー等に十分考慮するよう区として事業主体である東京メトロへ求めています。東京メトロとしても、全ての利用者が安心して鉄道を利用できるよう、バリアフリー化に取り組んでいると聞いております。いただいたご意見は、改めて東京メトロにお伝えさせていただきます。
5	重要課題1 地下鉄8号線延伸を契機とした 魅力あるまちづくり	地下鉄8号線 に関する意見	開業までのスケジュールおよびロードマップを提示してほしい。	事業主体である東京メトロは、開業目標を2030年代半ばとしております。また、令和6年6月に地下鉄8号線延伸に係る都市計画決定がなされており、東京メトロは、都市計画決定から約1年以内の工事着手を目指しております。今後、東京メトロから示されるスケジュール等についても、周知をするようお伝えさせていただきます。
6	重要課題1 地下鉄8号線延伸を契機とした 魅力あるまちづくり	地下鉄8号線 に関する意見	時勢を考慮し、駅にシェルター機能等を付すことを期待する(他1件)	武力攻撃を想定した避難施設(シェルター)については、国において、その確保に係る基本的考え方が令和6年3月に示されるなど、関係機関において必要な取組が進められております。いただいたご意見は、関係機関にお伝えさせていただきます。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
7	重要課題1 地下鉄8号線延伸を契機とした 魅力あるまちづくり	地下鉄8号線 に関する意見	東陽町駅の地上と改札口をつなぐエレベーターが現状1機しかないため、地下鉄延伸に伴う利用客増加を見越して、エレベーターの増設を検討するよう提案する。	地上部との接続については、バリアフリー等に十分考慮するよう区として事業主体である東京メトロへ求めています。 いただいたご意見は、東京メトロにお伝えさせていただきます。
8	重要課題1 地下鉄8号線延伸を契機とした 魅力あるまちづくり	まちづくりに関する意見	地下鉄8号線延伸に伴う駅周辺に、商業施設やバスターミナルなどを整備し、利便性向上の他観光客の誘因などまちの魅力を向上させ、活性化させてほしい(他8件)	沿線各駅周辺については、令和5年3月に策定した「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」に基づき、地域住民や地元企業の意見を十分に取り入れ、土地利用や地域資源を活かした、魅力あるまちづくりを順次推進いたします。
9	重要課題1 地下鉄8号線延伸を契機とした 魅力あるまちづくり	まちづくりに関する意見	地下鉄8号線沿線の発展は喜ばしい一方、大島砂町地区の交通問題も見逃さないでほしい。錦糸町が繁栄するのに対し、亀戸や新木場、砂町銀座などはどうなのかと問いたい。亀戸・大島砂町地区では閉店が相次ぎ、商店街すら消滅している。新しい臨海地区の発展も大事だが、それと同時に大島砂町地区の問題も忘れないでほしい。	頂いたご意見も踏まえ、新たな交通手段の導入について検討してまいります。
10	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	防災に関する意見	江東区は0m地帯も多いため、危険地域などには例えば過去に洪水が来たときの高さを示すポールを立てたり、看板などで常日頃呼びかけを行うのはどうか。	区では、過去の水害時の潮位や護岸高を示した水準標を区立公園などに15か所設置しております。さらに令和6年度には、浸水深などを表示するハザードサインを避難所に指定されている小中学校などに91か所設置する予定です。
11	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	防災に関する意見	東雲地区は宅地化が進む一方で、沿岸部は準工業地域区分で、高さ3mのコンクリート壁だけが防潮措置となっている。首都直下型大地震の際の高潮被害を考えると、この現状の防潮措置は脆弱である。そのため、ただ壁をめぐるのではなく、地区全体を海面より最低でも3m～5m盛り土するよう提案する。	防潮堤を含む海岸保全施設については、都港湾局が所管しています。東雲地区においては、防潮堤の耐震整備は完了している一方で、気候変動による高潮リスクを踏まえて、防潮堤のかさ上げを計画しております。いただいたご意見については、都と情報共有させていただくとともに、区においても都と連携し、水害対策を行ってまいります。
12	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	防災に関する意見	地震時に津波が発生する可能性がある地域の住民への津波対策として、ボートや浮き輪の提供を提案する。これにより住民の安心感を高めることができると考えている。また、昨年の災害リュックの支給に感謝する。	区では水害に関する備えとして、ゴムボートが2艇とFRP製ボート32隻(うち12隻は組立式)を備蓄しております。いただいたご意見を参考に、自助・共助に対する効果的な支援策について、引き続き検討してまいります。
13	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	長期計画に関する意見	地下鉄8号線延伸を重要課題としているのは理解できるが、それと同等に「災害に強いまちづくり」を位置付けているのは、どのような理由によるものなのか。	自然災害への対策は区民の生命を守る重要な施策であり、これまでも重点プロジェクトとして取り組んでまいりましたが、近年の激甚化、頻発化している状況を踏まえ、重要課題として位置づけ、さらなる取り組みを進めてまいります。
14	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	危機管理に関する意見	防災無線は家の中からでは聞き取りづらく、具体的な内容が理解しにくい。防災情報もスマートフォン等で素早く受け取れる仕組みを期待する。(他1件)	区では防災行政無線で流した同じ内容をホームページや登録制メール(こうとう安全安心メール)、X(旧Twitter)など、様々な手段で情報を確認できる仕組みを整備しています。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
15	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	危機管理に関する意見	近い将来日本が、北朝鮮によって核ミサイルまたは核ドローンによって攻撃されるかもしれない国際情勢に対応できる施策がまったくないと思う。	現在、他国からのミサイル攻撃等から身を守るため、政府において「緊急一時避難施設」の指定に関する取組が推進されています。この方針に沿って、区も都と連携して、公共施設や民間施設の指定を行っています。
16	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	防災に関する意見	全ての人に対する災害に強いまちづくりを進めることが基本であると考えている。しかし現状では障害者や外国人に向けての災害対策の取り組みが弱いと考えている。ユニバーサルデザインの考え方を打ち出して、弱者にも配慮した多くの対策に取り組んで欲しい。	障害者や外国人などの要配慮者の視点に立った災害対策は重要なものと認識しております。区では、今年度、災害時要配慮者担当課長を設置し、備蓄や体制の検討を進めております。いただいたご意見を踏まえまして、ユニバーサルデザインの考え方を基に、引き続き要配慮者の方々に配慮した避難所の環境づくりや運営などを始め、様々な災害対策について検討してまいります。
17	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	住宅に関する意見	全ての住宅、マンションも含む、耐震診断の推進も強く求める。すべての住民が安心して生活できるまちづくりに繋がると考える。	昭和56年5月以前に建てられた木造住宅やマンション等に対し、木造住宅無料耐震診断や耐震化アドバイザーなどの専門家派遣を実施するとともに、耐震診断・耐震設計・耐震改修工事等にかかる費用の助成を行っております。今後も耐震化のさらなる普及啓発に努めるとともに、耐震化支援策の充実を図ってまいります。
18	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	道路・公園・散歩道等に関する意見	狭い道路の住宅前に自転車が放置されているが、地震等の避難時に大きな障害となる可能性があると思うので、取り締まりしてほしい。	現場を確認し、警告・撤去を実施するとともに、公道上の放置自転車が緊急車両の通行の障害になることを周知・指導してまいります。
19	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	道路・公園・散歩道等に関する意見	外で炭火を用いて営業している店舗があるが、道が狭く、火災時に消防車が入れないのではないかと。再開発してほしい。	安全で安心なまちづくりを実現するため、細街路の拡幅整備を進め、消防活動並びに避難動線の確保に努めます。
20	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	防災に関する意見	避難所を開設するときはプライバシーの確保とともに、避難食では栄養面に偏りがないように工夫してほしい。	区では、感染症防止及びプライバシーへの配慮から、組み立て式テントの備蓄を行っております。障害がある方が安心して避難所で生活できる環境の整備は重要と考えており、避難所のマニュアルの見直しや要配慮者専用の避難スペースの確保、資機材の充実、受け入れ訓練の実施などを検討してまいります。 避難食についてはカロリーを重視し、発災後1日分のクラッカー、アルファ化米(五目ごはん、白米)、レトルトカレー、おかゆを備蓄しております。引き続き栄養バランスを考慮した避難食の選定・導入を検討してまいります。
21	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	防災に関する意見	都営豊洲四丁目アパートの創出用地は売却せず、平時は公園、有事は避難場所として有効活用してほしい。	都営豊洲四丁目アパートの建て替えに伴う創出用地について、都と協議を行っているところです。創出用地の活用を含め、今後のまちづくりにつきましては、地下鉄8号線の延伸を見据え、地域の皆様と協働するとともに、都と連携しながら検討してまいります。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
22	重要課題2 区民が安全・安心に暮らせる 災害に強いまちづくり	防災に関する意見	災害時に町内会が機能するように行政から具体的なサポートを期待する。	区では、共助の精神のもと、町会・自治会等によって結成された自主防災組織である災害協力隊の結成と活動を支援しております。引き続き、災害協力隊への支援を実施し、効果的な支援策を検討してまいります。
23	重点1 水彩・環境都市づくり	受動喫煙に関する意見	喫煙所を作ってほしい。(他1件)	分煙社会の実現のため、喫煙所の整備は必要と考えておりますが、適切な場所の選定が難しいなど、新規の設置には課題が多い状況です。引き続き、民間事業者との連携など、様々な方法について検討してまいります。
24	重点1 水彩・環境都市づくり	受動喫煙に関する意見	受動喫煙防止に対する取り組みを求める。(他3件)	受動喫煙防止に対する取り組みとして、区内全域で路上喫煙を禁止し、罰則を設けることは、制度として一定の効果があると考えております。一方で、喫煙環境の整備の充実や罰則の実効性を高める体制についても同時に取り組む必要があると考えております。今後、他区の状況を踏まえ、導入の適否を検討してまいります。
25	重点1 水彩・環境都市づくり	道路・公園・散歩道等 に関する意見	有明エリア周囲の景観やマンションに配慮した公園照明を求める。	公園照明につきましては、公園利用者の安全や周辺住民等への影響、景観や環境への配慮及び省エネルギーなど複合的な視点をもって整備をしていく必要があると考えております。有明エリアにつきましても、照明の色合いや明かりの漏れ防止など、周囲の景観やマンションに配慮した公園照明を検討してまいります。
26	重点1 水彩・環境都市づくり	道路・公園・散歩道等 に関する意見	木場公園の照明を増設するとともに公園内に公共施設・商業施設を増やしてほしい。	木場公園は都立公園のため、いただいたご意見は都にお伝えさせていただきます。
27	重点1 水彩・環境都市づくり	道路・公園・散歩道等 に関する意見	区内の街路樹が伐採されたあと、コンクリートで埋められたり、公園では雑草が生えないようにシートを覆っている場所がある。ヒートアイランド対策の観点からも、公園や道路にもっと緑を増やしてほしい。	街路樹につきましては、倒木事故を未然に防ぐため、やむをえず伐採することがあります。伐採後の植樹柵には、段差解消や雑草繁茂を防止するため、透水性のある舗装材で対応を行っております。引き続き、道路や公園の樹木につきましては、今後も計画的な植樹を進め、緑化の推進を進めていくとともに、良好な景観が形成されるよう取り組んでまいります。
28	重点1 水彩・環境都市づくり	環境に関する意見	環境対策は、二酸化炭素削減だけが全てではないと考えている。そのため、「ゼロカーボンシティ」「二酸化炭素排出量の削減」などの文言は適切ではないと感じている。また、木材もただ利用するだけではなく、その最適な使い方を視野に入れるべき。	人間活動による温室効果ガス(主に二酸化炭素)は地球温暖化の主な原因とされており、温室効果ガス排出量の削減は世界規模で取り組まなければならない喫緊の課題です。カーボンニュートラル(二酸化炭素排出量実質ゼロ)の実現は地球温暖化の抑制に向けて世界的に重要な取り組みであり、日本においても2050年カーボンニュートラルを目指すことを宣言しております。区も2050年ゼロカーボンシティ江東区の実現を目指し、国・都と連携して取り組みを推進してまいります。公共施設における木材利用については、森林の適正な整備・保全及び健全な育成のため、積極的な木材利用を推進してまいります。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
29	重点1 水彩・環境都市づくり	道路・公園・散歩道等 に関する意見	河川や運河の散歩道を橋等で分断することなく整備するとともに、スロープなどを設置して歩きやすくしてほしい。(他1件)	区では、都による護岸整備が完了した箇所について、照明設備やユニバーサルデザインに配慮した出入口などの施設整備を行った上で、散歩道として開放しています。 護岸整備が完了しているものの未開放となっている箇所については、近隣住民の合意形成や護岸隣接事業者の利用調整を進めていくとともに、橋下についても連続性・回遊性を高めていくため、開放している散歩道を接続するよう順次整備してまいります。
30	重点1 水彩・環境都市づくり	環境に関する意見	ごみのポイ捨てが多い。公園にゴミ箱を設置してほしい。	区立公園のごみ箱につきましては、家庭ごみの不法投棄などの理由により、現在は設置しておりません。公園利用の方々には、マナー啓発看板などにおいて、ごみのお持ち帰りを呼び掛けております。
31	重点1 水彩・環境都市づくり	環境に関する意見	エコな家電の購入ごとに助成金を交付するという政策を望む。	区では地球温暖化の防止に資する設備・機器の導入にあたって、区民・事業者等へ助成金を交付する事業を実施しています。今後も助成対象の見直し、拡充を検討してまいります。また、省エネ性能の高いエアコン、冷蔵庫等の買い替えでは都が「東京ゼロエミポイント」を付与し、促進を行っています。
32	重点2 こどもが希望を持てるまちづくり	子育て・教育に関する意見	学習用端末の活用は賛成だが、健康面が心配。定期的な視力検査等を実施し、区健康増進へのアピールしてほしい。	視力検査は毎年、健康診断の一環として実施しているところです。視力など健康面に留意した学習用端末の使用については、日々の学習を通じて、児童・生徒に伝えけるとともに、今後、リーフレットを活用し、家庭に周知してまいります。
33	重点2 こどもが希望を持てるまちづくり	子育て・教育に関する意見	ICT活用した教育とあわせて、ネットリテラシー教育も実施してほしい。	インターネットリテラシーや情報モラルについての教育は重要であると考えています。インターネットにある情報を児童・生徒が適切に活用できるよう今後も支援していきます。
34	重点2 こどもが希望を持てるまちづくり	子育て・教育に関する意見	児童相談所の整備だけでなく、予防策として専門家による講演会の開催をするなど、虐待を未然に防ぐ知識を区民へ広めることも重要だと考える。	広く区民を対象に実施する虐待の未然防止を目的とした活動としては、こどもまつりや区民まつり等での周知啓発活動や、区報への掲載等を実施しております。専門家による講演会の開催についても、より効果的な予防策を検討する中で参考とさせていただきます。
35	重点2 こどもが希望を持てるまちづくり	子育て・教育に関する意見	養育者の支援も充実してほしい。	虐待を防止するためには、お子様の健やかな成長を支えるのみならず、養育をする方が、健康で安心して子育てできる環境が不可欠と認識しております。 お子様の状態に関係なく、保護者の方がお子様から一時的に離れることで、休息をとったり、気分転換をしたりすることができる機会の提供については、今後もさまざまなニーズを踏まえ、子育て家庭に寄り添った支援を検討してまいります。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
36	重点2 こどもが希望を持てるまちづくり	子育て・教育に関する意見	自由に利用できるこどもの預かりサービスや病児保育施設を増やしてほしい。(他1件)	自由に利用できる乳幼児向けの預かりサービスとして、子ども家庭支援センターのリフレッシュひととき保育や、児童館一時預かり保育サービス、保育園での子育てサポート一時保育を実施していますが、さらに手厚い子育て支援を目指し、本年1月からベビーシッター利用支援事業、7月から未就園児の定期的な預かり事業「あずかーる」を開始いたしました。また、病児・病後児保育施設は現在3施設を運営していますが、今年度中に新たに2施設を増設する予定です。保護者に、より安心して子育てができる環境となるよう、今後も施策を推進してまいります。
37	重点2 こどもが希望を持てるまちづくり	子育て・教育に関する意見	子育ての悩みは中学生、高校生、大学生になっても続く。そして、子育て費用は高学年になるほど増える。保育園や学童の待機児童問題解消だけでは少子化は解消しない。子育てをするほうが「得」と思えるような環境を整えるべきだ。都市部である江東区でこそ、子育てしやすい環境づくりに力を入れるべきだと強く要望する。	少子化対策は、国、都、区がそれぞれの役割に応じ対策を進めております。国では多子世帯のへの大学授業料無償化や給付型奨学金の実施、都は高校授業料の無償化等を実施しており、江東区も、国の制度である児童手当や児童扶養手当の拡充に確実に対応していくとともに、区の実情に応じ、保育所や子ども家庭支援センターなどの施設運営、ベビーシッター利用支援事業等の子育て家庭への支援、子ども医療費助成といった経済的支援などの事業を実施しているところです。また、こどもと支援を要する若者を対象にしたこども計画の策定も進めております。少子化は国全体の課題であり、区も適切に施策を推進してまいります。
38	重点2 こどもが希望を持てるまちづくり	文化・スポーツに関する意見	公園のボール遊び禁止により、こどもたちが元気に遊べるスペースが減っている。有明地区に野球場やサッカー場、室内プールなどを整備してほしい。	スポーツ施設を新設するには用地の確保のほか、施設整備費をはじめ、開設後の管理運営費や改修費等のランニングコストも含め、膨大な費用が必要となるため、費用対効果等を十分考慮し、慎重に判断することが求められます。区では屋内・屋外施設とも一定程度充足しているものと考えており、現在のところ施設の新設は予定しておりませんが、引き続きスポーツ環境のさらなる充実に向けた方策について検討してまいります。
39	重点2 こどもが希望を持てるまちづくり	子育て・教育に関する意見	特別支援学級(すまいる教室)は、現在、南砂小と南砂中のみにあるが、全区立小・中学校に設置してほしい。	特別支援学級(自閉症・情緒障害固定)については、特別支援教室の指導では改善が困難な児童・生徒を受け入れるため令和2年度に南砂小学校・南砂中学校に設置されました。令和5年度には、受入可能児童・生徒数を拡充するため、各校とも2学級に増設しました。今後、対象となる児童・生徒数の状況等に応じて南砂小学校・南砂中学校以外の学校への設置についても検討してまいります。
40	重点2 こどもが希望を持てるまちづくり	自転車に関する意見	友人同士などで自転車を購入しなくても簡単にレンタルできるサービスが欲しい。大人も同様にレンタル自転車を強化してほしい。	区では、(株)ドコモ・バイクシェアと共同で、江東区コミュニティサイクル事業を実施しており、サイクルポートで自由に貸出・返却することができます。令和6年3月末時点でサイクルポートは江東区内に188箇所設置しています。今後ともコミュニティサイクルの利便性向上に努めてまいります。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
41	重点4 誰もが安心して住み続けられる 社会づくり	予防接種に関する意見	予防接種は任意であることを強調してほしい。	ご認識のとおり、予防接種は強制ではなく、接種しなかったことによる罰則也没有ありません。 一方で、予診票には同意欄があること、また、本人が医療機関を受診しなければ接種できないことを踏まえると、区としてあえて任意であることを強調することは難しいと考えます。
42	重点4 誰もが安心して住み続けられる 社会づくり	福祉サービスに関する意見	狭い道路はバスが通行できず、高齢者の買い物等に支障が出ている。小さなバスを運行してほしい。	頂いたご意見も踏まえ、新たな交通手段の導入について検討してまいります。
43	重点4 誰もが安心して住み続けられる 社会づくり	福祉サービスに関する意見	地域によって受けられる支援や介護に偏りがないよう、事業所の誘致や、人材の確保支援を進め、安心して暮らせる社会づくりを期待する。	区では、高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる、地域包括ケアシステムの構築を進めております。 事業所の整備については、民間事業者が主体的に行うことを原則としつつ、小規模多機能型居宅介護等への整備補助、地域密着型サービス事業所への開設準備経費補助等により、側面的に事業者を支援しているところですが、臨海部における一部介護事業所の不足については重要な課題であると認識しており、適切な公有地等を活用した整備についても検討を進めてまいります。 福祉人材の確保については、採用活動支援、介護人材育成支援や離職防止の取り組み、外国人介護人材の育成などを実施しているところであります。引き続き、国及び東京都の動向等を踏まえながら、福祉人材の確保等に取り組んでまいります。
44	重点4 誰もが安心して住み続けられる 社会づくり	福祉サービスに関する意見	「高齢者が安心して住み続けられる社会づくり」のために、看護・介護者の気分転換の場の設置や適切な支援制度の整備を提案する。	区では、高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる、地域包括ケアシステムの構築を進めております。 この一環として区では、高齢者家族介護教室や認知症家族交流会等を実施するほか、長寿サポートセンターが個別のご相談に応じたり、介護サービスの利用をご提案するなど、介護をする方の心身の負担軽減に取り組んでおりますが、今後も介護する方に寄り添った取組を実施してまいります。 また、高齢者の命や安全、権利などの擁護及び、養護者の支援のため、高齢者虐待について周知啓発を行ってまいります。
45	重点4 誰もが安心して住み続けられる 社会づくり	防災に関する意見	震災時、支援物資の受け入れ場所が塩浜倉庫のみだが、区内の商業施設の駐車場を受け入れ場所とした上で、地域ごとの分散配置としてはどうか。同時に、地域毎の災害協力隊を設け、より一層の応援体制を整えるべき。	区では地域内輸送拠点である塩浜の中央防災倉庫を支援物資の集積場所としており、当該倉庫のみでは不足する場合には物流事業者との協定に基づいて保管場所を確保することとしております。また、配給は避難所で行うことから、避難所における災害協力隊との連携体制の強化は必要であると考えております。いただいたご意見を参考に支援物資の集積場所・応援体制の強化を検討してまいります。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
46	重点4 誰もが安心して住み続けられる 社会づくり	生活支援に関する意見	非正規雇用で派遣として14年働いているが、ボーナスがないため経済的に厳しく、住民税やガス、電気、食費、家賃などの生活費の安価化を緊急に求める	物価高騰により厳しい状況にある生活者への支援として、区では国が令和5年に策定した「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、低所得世帯（住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯）や定額減税しきれないと見込まれる方に対して、江東区物価高騰重点支援給付金を支給しています。 なお、区独自の給付金を実施する予定はありませんが、今後も国の施策に基づき生活困窮者へ対応等を迅速に実施していきます。
47	重点4 誰もが安心して住み続けられる 社会づくり	生活支援に関する意見	コミュニティバスの無償化・増便をしてほしい。（他2件）	コミュニティバスは、様々な方に低廉な運賃でご利用いただくことが重要であると考え、小学生以上一律100円で設定しております。 現時点で無償化や増便の予定はございませんが、貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
48	重点4 誰もが安心して住み続けられる 社会づくり	住宅に関する意見	区営住宅、都営住宅に障害者が優先的に入れるように配慮すべき。	区営・都営住宅は公営住宅法に基づき公募が原則となっておりますが、都営住宅では障害者・高齢者・ひとり親等の方のみを対象としたポイント方式の応募や障害等級による優遇倍率を設けた抽せん方式の応募を設けています。 また、区営・都営とも申し込み条件に所得制限がある中、障害者の方については所得制限を緩和し、対象者枠を拡大しているところです。 今後とも様々な方に配慮し住宅施策に取り組んでまいります。
49	重点4 誰もが安心して住み続けられる 社会づくり	福祉サービスに関する意見	高齢者が孤立しないよう、気軽に立ち寄れる場所を提供してほしい。	区には、登録が必要となりますが、高齢者の「生きがいづくり」や「仲間づくり」等の場として、福祉会館7館、老人福祉センター（ふれあいセンター）4館、児童・高齢者総合施設（グランチャ東雲）があり、高齢者が気軽に立ち寄れる場を提供しています。また、社会福祉協議会で活動を支援している、ふれあい・いきいきサロンが区内に100箇所以上あり、高齢者等が交流し、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。
50	重点5 持続的に発展するまちづくり	環境に関する意見	ポイ捨て改善の対策としてポイント制度の導入を提案する。	区では、たばこのポイ捨て対策として、区内鉄道駅周辺でのパトロール指導員による定期的な巡回・指導、路面標示シートの貼付、啓発ポスターの設置等、喫煙ルール・マナーの向上に取り組んでおります。 また、春・秋に実施する一斉清掃や身近な場所で活動できるアダプトプログラムなど、地域の清掃活動の支援に努めております。ご提案のポイント制度につきましては、現時点で導入の予定はございませんが、まちの美化活動の推進に向けて、今後の参考とさせていただきます。
51	重点5 持続的に発展するまちづくり	まちづくりに関する意見	江東区役所周辺道路にテーブルを設けてお茶が楽しめるような空間づくりをしてほしい。	江東区役所周辺道路について、四ツ目通りは都の所管となっておりますので、都にお伝えさせていただきます。 また、区役所南側のコミュニティ道路は、歩行者等の交通が多く、テーブル等を設置した際、交通の妨げとなる可能性が高いため、現時点での設置は難しいと考えております。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
52	重点5 持続的に発展するまちづくり	住宅に関する意見	豊かな水辺と緑のある景観形成を実現するために区内マンション外周の緑化促進の補助金を検討いただきたい。	区では、うるおいのあるまちなみ形成を促進するため「みどりのまちなみ緑化助成制度」にて、助成対象に条件はありますが、花壇等の設置に対し、経費の一部を助成しております。多くの方に利用していただけるよう、周知の強化を図るとともに、今後も緑化の推進に取り組んでまいります。
53	重点5 持続的に発展するまちづくり	自転車に関する意見	放置自転車を再活用してほしい。	区では、公益社団法人江東区シルバー人材センターと協定を締結し、放置自転車リサイクル事業を実施しています。撤去した放置自転車の保管期限を過ぎても引取者が現れない場合は、シルバー人材センターが選別・再整備し、リサイクル自転車取扱店で販売しています。なお、リサイクル自転車取扱店の一覧は江東区シルバー人材センターのホームページに掲載しております。
54	重点5 持続的に発展するまちづくり	自転車に関する意見	自転車専用道路の整備を求める(他1件)	「江東区自転車利用環境推進方針」に基づき、自転車ネットワーク路線の未整備区間については、機会をとらえ、引き続き、整備してまいります。
55	重点5 持続的に発展するまちづくり	まちづくりに関する意見	都市マスタープラン2022の地区別ごとに記載されている施策について、予算編成・執行状況を明らかにしてほしい。	各々の地区における施策については、所管部署が、区の長期計画及び分野別の計画、さらにはマスタープランにおける防災・環境・水辺と緑等、各テーマ別の方向性を踏まえ、事業を推進しているところです。地区別の予算編成・執行状況の公表については現在行っており、今後の検討課題と考えています。
56	重点5 持続的に発展するまちづくり	まちづくりに関する意見	亀戸は歴史的に見ても本所地区とも関わり合いが深く、可能性は低いと思うが、墨田区に編入したほうがいいのか。	歴史を遡ると、亀戸は本所地区と関りがあった時期がございました。その後のあゆみで昭和の時代に入り、昭和22年に亀戸を含む城東区が深川区と合併して江東区が誕生しました。区が誕生してから今年で77年を迎え、その間、亀戸は区とともに大きく発展してきました。今後は、都市計画マスタープラン2022に記載のとおり、区の北の玄関口として回遊性の高い拠点形成を目指し、亀戸駅周辺を中心に交通広場の再編や交通施設の整備等を図り、多様な都市機能を誘導するとともに、歴史・文化資源を活用し、隣接する区などと連携しながら、回遊性の高いまちづくりを目指してまいります。
57	重点6 臨海部のまちづくり	公共施設に関する意見	臨海部は今後少子高齢化が進むので、今後は「子育て施設」より「高齢者施設」を増やしてほしい	公共施設の整備につきましては、人口動態や行政ニーズを踏まえながら、区民サービスの向上や公共施設の有効活用の観点などから検討してまいります。
58	重点6 臨海部のまちづくり	公共施設に関する意見	区役所と同等の手続きができる総合支所を設置してほしい。(他1件)	公共施設の整備につきましては、人口動態や行政ニーズを踏まえながら、区民サービスの向上や公共施設の有効活用の観点などから検討していくとともに、庁舎と庁舎以外での行政サービスの在り方については、今後のDXの進展による電子申請等の状況等も踏まえ、新庁舎整備や区役所のDX推進の取り組みの中で、さまざまに検討してまいります。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
59	重点6 臨海部のまちづくり	公共交通機関に関する意見	有明地区を通る鉄道は料金が高いうえに、バスは本数も少なく、利便性が低い。 都バスは土日は満員で乗車拒否されるうえに、区役所までいくのも不便。(他1件)	いただいたご意見を各運行事業者にお伝えさせていただきます。
60	重点6 臨海部のまちづくり	公共交通機関に関する意見	交通費の負担が大きいと感じており、すべての交通機関で均一料金の導入を提案する。パリのよう旅行者も居住者も利用しやすい交通網を期待している。特に地元区間であるりんかい線とJRの連携を一つの取り組みとして期待している。	いただいたご意見を各運行事業者にお伝えさせていただきます。
61	重点6 臨海部のまちづくり	まちづくりに関する意見	辰巳の都営住宅建替に伴い、辰巳近辺のまちづくりの方向性が不透明。集約化や高層化により広大な開発用地が確保可能になることを予想しつつも、都営住宅建替後の辰巳地域の在り方について公に示されておらず、工期延期による未利用な空き地も含めて不安を感じている。地域住民に適宜情報公開してほしい。	辰巳地区のまちづくりにつきましては、江東区都市計画マスタープラン2022に基づき、地域の特性を活かしたまちづくりを推進しているところであります。 ご意見をいただきました、辰巳団地の建て替えにつきましては、多様な世代の人々でにぎわい活力のある持続的に発展する市街地の形成を目指し、大規模団地建替えに合わせ、駅周辺を中心に、交流機能や利便施設、公共施設等の都市機能をバランス良く誘導してまいります。 今後も、都と連携しながら、持続的に発展する市街地の形成を目指してまいります。
62	重点6 臨海部のまちづくり	まちづくりに関する意見	有明地区をスポーツの街としてもっと盛り上げるために空地を使って、さらにスポーツができるスペースを増やしてはどうか。	スポーツ施設を新設するには用地の確保のほか、施設整備費をはじめ、開設後の管理運営費や改修費等のランニングコストも含め、膨大な費用が必要となるため、費用対効果等を十分考慮し、慎重に判断することが求められます。区では屋内・屋外施設とも一定程度充足しているものと考えており、現在のところ施設の新設は予定しておりませんが、引き続きスポーツ環境のさらなる充実に向けた方策について検討してまいります。
63	重点6 臨海部のまちづくり	まちづくりに関する意見	余裕のあるそして緑が多いまちづくりを望む。	区では、「みどりの基本計画」により、緑化の推進を図っております。計画において、みどりを守り、育てていくとともに、まちなかのあらゆる場所の緑化を進めることで、まち全体がみどりに囲まれた「みどりの中の都市」(CITY IN THE GREEN)をイメージし、実現に向け取り組んでおります。
64	重点6 臨海部のまちづくり	まちづくりに関する意見	江東区における実験的研究推進の視点から自立したスマートシティ構築をしてほしい。	都が推進する「東京ベイeSGプロジェクト」では、臨海部において最先端のテクノロジーを速やかに実装することで、「自然」と「便利」が融合する持続可能な都市を創っていくこととしております。引き続き、都と連携してまいります。
65	重点7 区の魅力を発掘・発信し続けるまちづくり	文化・スポーツに関する意見	アクアティクスセンターは素晴らしい施設であるが、週末の利用日数が年間ごく数日と限定されていることが問題。この施設は都のものではあるが、江東区が都に対して土地を提供しているのだから、週末でも利用できるように都との交渉をお願いしたい。また、練馬区や世田谷区のように1時間券を発売して気軽に利用できるようにしてほしい。	当該施設における区民利用の促進については、東京2020大会のレガシーの継承という意味で、非常に重要なことだと考えておりますので、区としても機会をとらえて、都に要望してまいります。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
66	重点7 区の魅力を発掘・発信 し続けるまちづくり	自転車に関する意見	駅の近くに駐輪場が欲しい。もう少しバス停が安全に停車できるようにしてほしい。例えば雨の日は屋根があったらとっても便利だと思う。	区ではこれまで、区内21駅周辺に54施設の自転車駐車を整備しておりますが、需要に対して収容台数が不足している場所があることは課題として認識しております。しかしながら、駅周辺の自転車駐車の新規整備については、整備用地の確保が困難な状況にあります。区補助金の活用による民間事業者の整備など、自転車駐車の確保に向けて今後も粘り強く取り組んでまいります。また、バス停の上屋設置について、運行事業者あて要望を行ってまいります。
67	重点7 区の魅力を発掘・発信 し続けるまちづくり	シティプロモーション に関する意見	最近ではYouTubeやSNSの発信が効果的とされている。江東区の魅力を伝えるために、こうしたメディアの活用が必要。また、区民の参加意欲を喚起するために発信コンテストのようなイベントを定期的に開催すると良い。さらに、生成AIやチャットGPTを活用して、アイデアの提供や意見の収集を絶えず行うシステムの導入も効果的だと考える。(他1件)	区の魅力を伝えるためにはSNSを活用した情報発信は必要であり、区ではYouTubeやLINE、X、Facebook等のSNSを活用した情報発信を行っております。今後は、媒体の特性を考慮し、より効果的な発信方法を検討してまいります。生成AIやチャットGPTを活用したアイデアや意見収集などのシステムの導入につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。
68	その他ご意見	環境に関する意見	江東区が主催するコンポストに参加申込をし、とても素晴らしい取り組みと感銘を受けた。	区のリサイクル事業に参加して頂きありがとうございます。引き続き区民の皆様とともにごみの減量施策に取り組んでまいります。
69	その他ご意見	環境に関する意見	ゴミの収集の件ですが、牛乳パックの収集もお願いしたい。	牛乳パックは週に1回の資源の日に雑がみとしてお出し頂けます。すすいで、乾かしてからお出してください。なお、内側がアルミ加工のものは燃やすごみとしてお出してください。
70	その他ご意見	文化・スポーツに関する意見	人生100年時代における学びの場としてICTの活用が進められているが、むしろソフト面の充実が必要と考える。現状の区の一般教養講座の内容には魅力を感じておらず、その改善から始めていただきたい。時事問題を含む身近なテーマから学べるメニューの提供、受講者の要望に対する柔軟な対応、専門家や区民の意見を反映したカリキュラム等、リスキリングとしての基礎知識を習得できるような教育に予算を配分すべきだと考える。	ICTの活用と並行して、ソフト面の充実も重要であると認識しております。一般教養講座の内容改善については、区民の皆様のニーズに応えるべく、時事問題や身近なテーマを取り入れた学習メニューの提供を検討してまいります。また、受講者の要望に柔軟に対応し、専門家や区民の意見を反映したカリキュラムの構築に努めます。また、人生100年時代に向けて、リスキリングとしての基礎知識習得を支援する教育プログラムの充実にも取り組んでまいります。限られた予算の中で、効果的な配分を行い、区民の皆様の学びの機会を拡充し、魅力ある講座の提供に努めてまいります。
71	その他ご意見	地下鉄8号線 に関する意見	新たな枝川駅(仮称)の位置について、もっとJR京葉線「潮見」駅に近づける、あるいは直結するように配置を検討してはどうかと提案する。新たに作られた渋沢旧宅へのアクセスが現状では厳しいと感じる。	事業主体である東京メトロが技術面や公共用地の位置を考慮し路線を設定したうえで、東京都において令和6年6月に地下鉄8号線延伸に係る都市計画の決定がなされております。現段階での路線位置の変更は困難ですが、区といたしましてはまちの回遊性向上に努めてまいります。
72	その他ご意見	長期計画に関する意見	重点3の3つめ、「女性をはじめ、」が余計。単に「誰もが輝けるまちづくり」が正しいと思う。誰もが、であれば女性を特記する必要はない、逆差別のように思う。数年後に見たときに時代遅れに見えないようにしたい。	区民ニーズの多様化やグローバル化に対応するためには、多様性(ダイバーシティ)を確保することが不可欠ですが、今なお家庭や地域社会、職場等あらゆる場面で固定的性別役割分担意識が根強く残っている等、課題があることを認識しております。そのため、長期計画(後期)の重点プロジェクトに掲げ、より一層推進してまいります。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
73	その他ご意見	長期計画に関する意見	重点プロジェクトの数を、基本構想の5つの施策に基づいて5つに絞る考えを提案する。また、情報伝達の視覚性や分かりやすさを向上させるため、具体的な数字やグラフを用いて訴求することを検討するよう提案する。この方法なら、問題意識や達成度も主観に頼らずに理解しやすくなると考える。	重点プロジェクトは、区が重点的に取り組むべき7つの分野について、5つの大綱に基づく各施策を横断的に連携し、進めていくものとして、位置づけております。また、重点プロジェクトで連携する各施策では、達成度を示すものとして、成果指標を設定しており、毎年度の区民アンケートや行政評価の中で指標による施策の進捗状況の把握を実施しております。
74	その他ご意見	住宅に関する意見	江東区は都内で分譲マンションの居住者が最も多い区で、この特性に対する課題について区がセミナーを主催していることは認識している。しかし、より具体的な取り組みを期待する。例えば、滋賀県の大津市では、マンション管理計画認定を取得した優良なマンションの管理規約を市のホームページで公開し、他のマンション管理組合が規約改定の参考にできるような取り組みが行われている。これに倣った、具体的な対策を期待する	区では、昨年よりマンション管理計画認定制度の運用を開始し、その周知・普及に取り組んでおります。また、マンションセミナーのほか、分譲マンション相談会、マンションアドバイザー無料派遣等を実施し、管理計画認定取得促進を含む各種マンション支援を行っているところです。今後ともご指摘いただいた取り組みのように、区内のマンションがより適正に維持、管理されるような取り組みを検討してまいります。
75	その他ご意見	公共施設に関する意見	都内で火葬場の数が不足しており、順番待ちと聞いている。土地の豊富な臨海地区に公益火葬場建設を検討してほしい。	今後、高齢化率の高まりから死亡者数の増加が予想されるため、火葬場等の需要については、今後とも状況を注視していく必要がありますが、公的な火葬場等の建設には、周辺環境への影響のほか、民間事業者への影響等、多くの課題があるものと認識しているところです。
76	その他ご意見	公共施設に関する意見	区内にはオリンピックで使用された運動施設がたくさん存在している。これらの施設を全国の学生や企業などに利用してもらうために、臨海地区に大型の宿泊施設を建設することを検討してほしい。	区内の様々な施設への国内外からの多くの方々が来訪することも踏まえ、バイエリアの魅力を最大限に活かせるようなまちづくりを推進してまいります。
77	その他ご意見	防災に関する意見	他自治体等外部との連携、防災協定を強化してほしい。	江東区では自治体間協定として、墨田区、特別区、栃木県大田原市、埼玉県秩父市、静岡県沼津市と締結しており、災害時の相互協力について確認をしております。特に、本年6月には栃木県大田原市、埼玉県秩父市、静岡県沼津市を訪問し、連携強化に向けた意見交換を行ったところです。引き続き既存協定の具体化及び新たな協定締結に向け、検討を進めてまいります。
78	その他ご意見	地域イベントに関する意見	日本は海外と比べ年末年始のカウントダウン花火イベントがない。人口や税収が増えている江東区はそれが可能なはずだ。レインボーブリッジ周辺が港区のため難しければ、ゲートブリッジで開催するのはどうか。	花火の打ち上げ場所の選定については、①安全な距離が確保できること②付近に危険物の貯蔵施設等(燃えやすいもの)がないか確認すること③近隣住民等のご理解とご協力を得ることなどが必要となります。また、花火イベントの開催には、安全確保のために多くの警備員やスタッフを確保する必要があることに加え、警察・消防などの各関係機関・団体との連携も必要であることから、複数開催することは非常に困難な状況です。上記条件を鑑み、江東区では40年以上の歴史がある江東花火大会を荒川・砂町水辺公園で開催しております。江東花火大会は夏の風物詩として定着しているため、引き続き毎年8月に開催することとしております。

No.	重要課題・重点プロジェクト 項目	分類	ご意見の要旨	回 答
79	その他ご意見	長期計画に関する意見	区報のパブリックコメント特集号の構成が分かりづらく、特に1ページ目と2、3ページ目でプロジェクトの説明の順序が一致していない。通常、重要な課題とその解決策であるプロジェクトがセットで説明されるべきだと考える。さらに、重要な課題と重点プロジェクトの関連性が不明確で、その連関が理解できない。課題に対する解決策としてのプロジェクトの概念からすると、その関連性が明確であるべきだと感じる。	区では、まちづくりに大きな影響を及ぼす政策的な課題を「重要課題」として位置づけ、また分野ごとの重点的に取り組むべき課題や施策単独で解決できない横断的な課題に対応するものとして「重点プロジェクト」を掲げております。長期計画では重要課題および重点プロジェクトそれぞれを進めていくことで、課題解決を図り、区の目指す姿が達成できるよう取り組んでまいります。
80	その他ご意見	区政運営に関する意見	「区長への手紙」は区民の意見を収集する手段として設置しているが、ホームページ上で見られるその回答は形骸化していると感じる。	「区長への手紙」でいただいたすべてのご意見は関係部署と共有するなど、区政運営のさらなる改善に向けて対応しております。今後も開かれた区政の実現に向けて、広聴事業の充実に努めてまいります。